

8月 9月 31⊟ 本会議(総括質問)

.6⊟ 本会議(一般質問) 7日 決算·予算特別委員会 .9.10.13⊟ 常任委員会

本会議 21日 決算·予算特別委員会

22日 本会議

## 開会初日は、市当局が決算議 5人が総括質問 市当局が議案を提出

(質問内容は8~9頁

上程された議案のうち、議第

5人の議員が総括質問を行いま 件2件の計18件の議案を提出し、 監査委員による決算審査意見書 案7件、事件議案3件、人事案 案4件、予算議案2件、 の説明の後、各会派を代表して 条例議 例及び事件議案は所管の常任委

員会に付託しました。

次に、議第83号及び議第84号

算議案は予算特別委員会に、条 算議案は決算特別委員会に、予 67号から議第82号について、決

の2件を審議し、表決の結果、 全員賛成で同意しました。 (人事案件の内容は下段)

# 21人が一般質問

質問しました。 21人の議員が市政全般について 市当局に対して一般質問を行い 2日、3日、6日の3日間

(質問内容は10~14頁)

会に付託しました。

上程された議案・請願は、総括質問、

請願2件については、所管の常任委員 市当局が18件の議案を提出しました。

9月定例会は、8月31日に開会し、

書4件及び議案1件を含め審議し、23 委員会審査などの後、議員提出の意見

日間の会期を経て、9月22日に閉会し

各分科会に分割付託しました。

は3頁 (議案・請願・意見書の内容と審議結果

# 決算・予算議案等を審査 各常任委員会を開催

例及び事件議案の審査を行い、 常任委員会では、付託された条 各常任委員会を開催しました。 び予算議案の審査を行いました。 特別委員会分科会では、決算及 決算特別委員会分科会及び予算 10日に厚生、13日に産業建設の (審査内容は6~7頁) 8日に総務、9日に市民文教

審査を行いました。 委員会では、付託された請願の また、総務及び産業建設常任

# 決算・予算の分科会報告 請願1件を採択

管の常任委員長が審査報告を行 全員賛成で採択とし、請願第8 出を求める請願について、各所 い、表決の結果、請願第9号は 21日の本会議では、意見書提

決算・予算特別委員会を 開催、提案趣旨を説明 号は討論の後、 択としました。

算議案の提案説明が行われた後、 各委員会において、決算及び予 7日に決算特別委員会及び予 成で可決及び認定しました。

算特別委員会を開催しました。

議案の審査報告を行い、表決の 結果、全員賛成で可決しました。

# 2年度決算等を可決及び認定 意見書 4 件を可決

4件を審議し、表決の結果、全 員賛成で可決しました。 会第10号から13号までの意見書 最終日の22日、議員提出の議

件議案についての審査報告を行 ら議第82号までの12件は全員替 成で可決及び認定、議第71号か 号から70号までの4件は全員賛 案、各常任委員長が条例及び事 いました。表決の結果、議第67 議案、予算特別委員長が予算議 次に、決算特別委員長が決算

表決の結果、賛成少数で否決し 長が審査報告を行い、討論の後、 号について、産業建設常任委員 定例会で継続審査とした議第36 続いて、3月定例会及び6月

賛成少数で不採

開催し、各分科会委員長が予算 質疑の後、表決の結果、全員替 長が決算議案の審査報告を行い 特別委員会では、各分科会委員 引き続き、予算特別委員会を 本会議終了後に開催した決算

決しました。

成で可決しました。

佐藤

雅秀氏(上田沢)

ました。

後、表決の結果、全員賛成で可 局が議第85号を提出し、質疑の (討論内容は4頁) 次に、追加議案として、市当

可決しました。 出し、表決の結果、 次に、議会が議会第14号を提 全員賛成で

委員長が経過報告を行いました。 委員長、議会改革特別委員長、 委員長及び議員定数等検討特別 八口減少・地域活性化対策特別 (報告内容は15頁) 最後に、高速交通等対策特別

# 鶴岡市表彰条例に基づく表彰

石原 三科 純一氏(馬場町) 勇氏(羽黒町川 健氏(宝谷) 武 氏(新潟県佐渡市 代

# 人権擁護委員候補者

上野 今野 和惠 氏(青柳町 薰氏(行沢)

#### ▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	会 審議結果
議第67号	令和2年度鶴岡市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定
議第68号	令和2年度鶴岡市病院事業会計決算の認定について	決算特別	(全員賛成)
議第69号	令和2年度鶴岡市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	可決及び認定
議第70号	令和2年度鶴岡市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	(全員賛成)
議第71号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算(第5号)	予算特別	
議第72号	令和3年度鶴岡市介護保険特別会計補正予算(第1号)	予算特別	
議第73号	鶴岡市市税条例等の一部改正について	総 務	
議第74号	鶴岡市過疎地域固定資産税課税免除条例の一部改正について	総 務	
議第75号	鶴岡市地域経済牽引事業促進のための固定資産税課税免除条例の一部改正について	総 務	
議第76号	財産の取得について	総 務	
	消防軽積載車8台を取得するもの		
議第77号	鶴岡市過疎地域持続的発展計画の策定について	総務	可 決 (全員賛成)
議第78号	鶴岡市手数料条例の一部改正について	市民文教	
議第79号	鶴岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正 について	厚 生	
議第80号	鶴岡市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	厚 生	
	荘内病院の診療科目に漢方内科を加えるもの		
議第81号	鶴岡市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について	産業建設	
議第82号	湯殿山スキー場新第2ロマンスリフト建設工事請負契約の締結について 産業建設		J
議第83号	鶴岡市表彰条例に基づく表彰について	省 略	同意
議第84号	人権擁護委員候補者の推薦について	省 略	(全員賛成)
議第85号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算(第6号)	省 略	可 決 (全員賛成)

#### ▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名		委員会	審議結果
議会第10号	米の需給調整に関する意見書の提出について	省	略	
議会第11号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出 について	省	略	
議会第12号	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書の提出について	省	略	〉可 決 (全員賛成)
議会第13号	出産育児一時金の増額を求める意見書の提出について	省	略	
議会第14号	鶴岡市議会委員会条例の一部改正について	省	略	

#### ▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委	員会	審議結果
請願第8号	核兵器禁止条約の署名・批准を国に求める意見書提出に関する請願	総	務	不採択 (賛成少数)
請願第9号	米の需給調整に関する意見書の提出を求める請願	産業領	建設	採 択 (全員賛成)

#### ▼継続審査議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第36号	鶴岡市中小企業振興条例の制定について	産業建設	否 決 (賛成少数)

#### 7月臨時会の概要

7月26日~29日に7月臨時会を開催し、予算議案1件の審議を行い、賛成多数で可決しました。続いて、議員が同議案に対し附帯決議案を提出し、賛成多数で可決しました。(審査内容は5頁)

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第66号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算(第4号)	予算特別	可 決 (賛成多数)
議会第9号	議第66号 令和3年度鶴岡市一般会計補正予算(第4号)に関する附帯決議について	省 略	可 決 (賛成多数)

## 9月定例会の ポイント

#### 中小企業振興条例案を否決 (議第36号)

中小企業振興条例は、中小企業の振興に関して 基本理念を定め、市、中小企業者、経済団体及び 市民の役割を明らかにするとともに、中小企業に 関する施策を推進することにより、地域経済の健 全な発展と市民生活の向上に寄与することを目的 とするものです。

3月定例会で当局から制定案が提出されました が、産業建設常任委員会において、条例制定する

ことが目的となっていて、事業者や市民の声が十 分に反映されていないこと、本市の特色や課題が 網羅されていないことなど多くの問題を指摘。慎 重に審査を行う必要があることから、3月及び6 月定例会で継続審査としました。

今回の9月定例会では、産業建設常任委員会で 否決、その後の本会議でも討論を行い、表決の結 果、賛成少数で否決しました。

反 欬

#### 中小企業振興条例案について討論



#### 新政クラブ

- ○制定自体は本来賛成だが、トップダウンによる スピード優先で条例制定することが目的となっ ていて、スローガン的な内容に留まる今回の条 例案には反対する。
- ○制定に当たっては、中小企業の実態調査を十分 に行い課題を抽出することが大前提だが、対話 不足が露見しており熱を感じられない。
- ○中小企業ときちんと向き合うべきであり、この 内容で条例制定を行う緊急性はない。

#### 日本共産党鶴岡市議団

- ○全国の自治体でも制定されており、自治体の主 体的な姿勢、責任が明確になる。
- ○条例案に不足があれば、議会が修正案や附帯決 議を提出することも可能であり、中小企業の振 興のため、一日も早く制定すべきである。

#### 無所属

○コロナ禍で地域経済が厳しい中、中小企業の活 力ある発展のため、制定すべきである。

#### 新型コロナ関連補正予算を可決(議第71号・議第85号)

9月定例会で可決した新型コロナ対策の事業について、主なものを紹介します。

#### 新型コロナウイルスワクチン接種事業(国)

補正予算額2億4.228万円

10月以降のワクチン接種に必要な集団接種 会場運営費や個別接種に係るワクチン接種

委託料、コールセンター 及びLINE予約システ ムの拡充などに係る経費。



#### 小規模事業者経営継続支援事業(市単独)

補正予算額3億1,400万円

新型コロナ感染症第5波や国の緊急事態宣言 の影響を受けている小規模事業者に対して、

経営継続のための支援金を 交付。

(売上げの減少率に応じて 1事業者当たり20万円又は 10万円)



#### 令和3年度一般会計補正予算(議第66号)

## 「PayPayキャンペーン」関連予算について予算特別委員会で否決

# 7月臨時会のポイント

7月臨時会では、3月~4月に実施した PayPayキャンペーンを再度行うための経費 2億9,150万円及び県との協調による低所 得者階層の0歳~2歳児保育料の無償化に 係る経費3,680万円を増額する補正予算案 が提出されました。

PayPay関連予算については、本会議及び 予算特別委員会(総務分科会・産業建設分科 会)の質疑において、キャンペーン実施時期 を市長選挙直前の9月とすることや、合併後 の住民の一体感の醸成等を目的に積み立て た地域振興基金を財源とすることなど多く の問題を指摘。予算特別委員会では賛否が分 かれ、討論の後、表決の結果、賛成少数で否 決しました。

その後、市当局から、PayPay関連予算を 削除した訂正案が提出され、賛成多数で可 決しました。

続いて、議員がこの可決された補正予算に 関し、保育士不足の解消や保育施設の環境整 備に早急に取り組むことなどを求める附帯 決議案を提出し、賛成多数で可決しました。

#### 反 対

討論

新政クラブ コロナ禍において優先すべきは困っている事業者への助成金等による直接支援であり、本事業は店舗間の不公平感の解消等を行った上で、国の交付金を活用して行うべきである。

鶴岡市議会公明党 年配の方や経済的理由でスマホ を持たない方、非加盟店からは多くの不平不満の声が 届けられており、そこに耳を傾けるべきである。

**日本共産党鶴岡市議団** 合併時の大切な基金を市民 に限定せず一時的な消費に使うべきではない。

### 賛 成

市民クラブ所属議員 地域 振興基金を財源とすることは、 コロナ禍の地域経済の緊急対 策として妥当と考える。



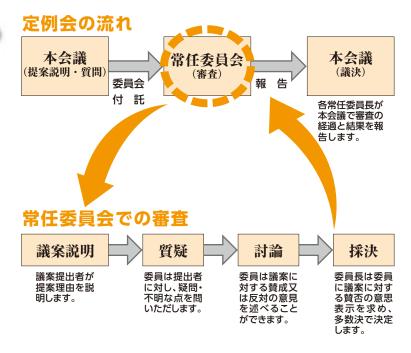
無所属 コロナ禍の厳しい状況においては、国の施策を待たず地域経済を回していく必要がある。

無所属 国が進める新しい生活様式や新型コロナ収 束後のインバウンド需要を見据え、キャッシュレス化 は急務である。

# ~常医复念の役割~

提案された議案などは最終的に本会議で 可否を決定しますが、市の仕事は幅広く複 雑なため、部門別の常任委員会を設け、本 会議の議決に先だって専門的、効率的に審 査しています。これを「委員会付託」とい います。

本市議会には、4つの常任委員会 (総務・市民文教・厚生・産業建設) があり、付託された議案について審査、採決します。本会議では、各常任委員長が審査報告を行い、報告に対する質疑、討論を経て、最終的な意思決定を行います。



#### 会 員 審

提出された議案をそれぞれ所管の 会に付託して審査します。 査の主なものを掲載します。

決算特別委員会

総務分科会

# 多額の不用額が出た要因は

果なのか のか、又は経費削減等に努めた結 算要求時点の積算の甘さが原因な 歳出科目が散見される。これは予 なくなり、多額の不用額が生じた **麥員** 結果として支出する必要が

事業の見直しの契機となるよう促 況を勘案し、予算査定の精度を高 ものと捉えている。近年の執行状 裕を持った予算を確保しておきた 先の予測が難しい中、ある程度余 等で支出が抑制されたことが要因 要求時点では想定困難な国の制度 方式が歳出総額の抑制だけでなく、 めるとともに、予算要求の枠配分 いとの各部署の意向も反映された である。また、予算要求に当たり 年度はコロナ禍による事業の中止 変更等があったほか、特に令和2 財政課長 に努めていく。 し、多額の不用額が生じないよう 多額の不用額は、予算

スクールバスの有効活用は

えられるが、地域での議論と課題 として、スクールバスの活用が考 活用の見通しは。 効率的で持続可能な交通網

後も、こうした学習を取り入れな

入を検討していきたい。 がら、地域に合った交通手段の導 行が可能か、住民の意見を伺いな 定時・定路線型のスクールバス運 できないことなどが挙げられてい でないため、高齢者が容易に乗降 護者が子供の安全面を心配し混乗 者の目的地と合致しないこと、保 が難しいこと、運行ルートが利用 間が変更になった場合の住民周知 課題として、学校の事情で運行時 から実施しているが、2年度は利 住民混乗は、櫛引地域で昭和52年 般住民も同乗するスクールバスの 地域振興課長 る。こうした課題を解決した上で 用者が皆無に等しい状況である。 に抵抗感があること、低床のバス

決算特別委員会 市民文教分科会

# マイナンバーカードの現状は

ライン申請を可能としたことや、 を利用した特別定額給付金のオン 市民課長 が、その割合と今後の目標は。 種証明書の発行件数も増えている 件数が大幅増となった理由は。ま た理由としては、国が、同カード た、コンビニエンスストアでの各 マイナンバーカードの交付 交付件数が大幅に伸び

スクールバスに一 も行っている。

混雑緩和や市民の負担軽減を図っ 手数料を引き下げており、 7月からコンビニ交付に係る発行 %であり、まだ少ない状況である。 ていきたい。 めるコンビニ交付の割合は2・2 ニ交付に誘導することで、窓口の コンビ

心のバリアフリーを培う教育は

が修学旅行に生き生きと参加でき 校外学習で行動を共にしたりして きる限り特別支援学級と通常学級 障がいのある方とない方の相互の 学校教育課長小・中学生時期の どのような方針で行っているか。 前学習をしている学校もある。今 るよう、配慮すべき点を考える事 いる。また、障がいのある児童等 の児童生徒が一緒に学習したり、 め、障がいの程度にもよるが、で 生かされると考えている。そのた 交流体験が、大人になってからも 心のバリアフリーを培う教育を、 障がいのある方・ない方の 増やし、出張による申請受付など とが挙げられる。市独自の取組と されるキャンペーンを実施したこ 5、000円分のポイントが還元 キャッシュレス決済を利用すると、 しては、休日の窓口交付の回数を

また、証明書発行件数全体に占

きたい。 がら、相互交流の取組を進めてい

# 最近の火災発生の傾向は

も多いので、設置率向上に向け、 池切れによる交換が必要なケース 務化から10年が経過し、故障や電 率は約8割となっている。設置義 の設置が大切であるが、その設置 である。火災対策には火災警報器 報器が未設置か、焼け方がひどく 宅火災はいずれも、住宅用火災警 生している。今年、死者が出た住 昨年同時期比で4件多く火災が発 広報活動を強化していきたい。 設置の有無が判明しなかったもの **消防本部予防課長** 9月9日現在



設置義務化となっている住宅用火災警報器

感じるが、その傾向は。

最近、火災の発生が多いと

# 決算特別委員会 厚生分科会

# 委員会」の課題と展望は 鶴岡市地域医療を考える市民

会について、これまでの課題及び 今後の展望は。 地域医療を考える市民委員

関係者を対象にアンケートを実施 度は2回、2年度は4回の委員会 地域包括ケア推進室長 民が知識を深める仕組みづくりに 市民アクションプランの中で、市 意見もあり、今後まとめる予定の る。また、市民委員会で学んだこ たことを受け、委員の出身母体の を把握したいという意見が出され で、地域医療について市民の認識 を開催している。議論を重ねる中 とを広く市民に周知したいという ついて検討する予定である。 結果を共有することとしてい 令和元年

# 待機児童の解消に向けた取組は

生が課題となっており、また、保 と今後の対策は。 育料無償化の対象拡大により、保 育需要の増大も見込まれる。早急 に取り組むべきと考えるが、現状 年度途中での待機児童の発

子育て推進課長 めの県の補助制度を使えない場合 保育士確保のた

> の法人の経営基盤強化を含め、総 外地で異なることから、運営主体 応については、課題が市街地と郊 している。保育需要の増大への対 ておくことが難しく、対応に苦慮 めの受入れ枠をあらかじめ確保し があるなど、年度途中の入所のた 合的な検討が必要と考えている。

# コロナ対応と通常診療の両立は

っている。 保に努めながら診療との両立を図 ない手術の延期等を行い、人員確 での対応が必要な状況であるが、 業務が生じており、連日夜遅くま 師をはじめ職員にはかなりの追加 25床をコロナ専用病床として確保 どのように両立を図っているか。 すのではと懸念する声があるが、 保することで通常診療に支障を来 し、対応にあたっている。担当医 **荘内病院総務課長** 現在1病棟に 八間ドックの一時休止や急を要し 新型コロナの専用病床を確

決算特別委員会

産業建設分科会

事業計画の見直しは 辰業経営者育成学校SEADSの

として実施したが、1期生は既に **麥員** シーズは市長肝煎りの事業

> するが、農業の後継者育成は重要 り、ここで原点に立ち返り計画の が施策成果の説明書で一切触れら らかな失敗であったが、このこと とか継続できていると考える。明 半減しており、市の運営だから何 農できるよう進めていきたい。 少しでも多くの研修生が本市で就 地元農家等の協力を受けながら、 ては更に精査していくが、今後も ズでは1期生5人が本市で就農予 者は1人だけである。一方、シー から13人が入校したが、県内就農 林大学校には、過去5年間に県外 だと考えている。例えば、県の農 途中退校者が多く出たことは反省 の研修生を育成する計画であり、 継続は難しいと思うが、見解は。 やり直しから始めなければ、事業 農業法人にも協力を仰ぐべきであ 営を行い、ノウハウがある民間の けでなく、何十年も本市で農業経 れていない。委託業者に任せるだ る事業である。費用対効果につい 定であり、一定の効果が期待でき **農林水産部長** 当初は、毎年17人

ショウナイルーツPRの取組は

事業業務委託料は、ショウナイル これまでの支援策とその成果は。 もブランドの認知は進んでいない ーツへの支援だと思うが、市内で 有機農産物ブランディング

> ちゃ豆やネギなど、相場を上回る 今後も売上げが伸びていくと見込 また、2年度からはショウナイル 単価で取引されている品目もある。 行った。こうした取組から、販売 載したり、SNS広告を出したり 強化のため、雑誌に特集記事を掲 2年度は認知度向上やブランド力 年度から実施しているものである。 ツのプロモーション支援として元 この業務委託は、ショウナイルー 産物等の販売体制構築を目的とし シーズ研修生の就農後の支援にも **農政課主幹** ショウナイルーツは んでいる。 の返礼品として活用されており ーツの野菜セットがふるさと納税 は21品目まで拡大しており、だだ 品目は元年度の2品目から2年度 て立ち上げられたブランドであり なるよう、付加価値の高い有機農 への訪問やバイヤーの招へい等を したほか、販路拡大のため販売先



なっている野菜セット

### YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています

YouTube 鶴岡市議会



## 括質問

市長提出議案に対して、 会派を代表して質問します。 各議員 1 項目について概要をお知らせします。

質問は市議会ホームページ等で公開している 録画配信や会議録で全てご覧いただけます。 原稿は質問した議員本人の責任において執筆 しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

### 市長公約に掲げた政策の実施状況と評価は

昌彦 議員 尾形 新政クラブ

ほかの質問

あったことも事実である。

新型コロナへの対応 行財政運営

市長 市長 円規模の基金となるが、令和2 は、公約では旧町村だけで50億 る。既存事業の見直しなど、 担軽減も重要な施策と考えてい ちの実現には、子育て世代の負 年度末までの事業実績は。 き続き検討を進めていく。 源確保に知恵を絞りながら、

地域まちづくり未来基金

約12億円、事業費ベースでは約 額を合わせた造成額ベースでは の政策は、公約策定時に財源見 6・5億円となっている。 基金積立てと市債の累計 給食費無償化と未来基金

市長

少子化による民間保育所

考えられるが、運営主体の自主 や連携による経営基盤の強化が 等の運営課題として、法人統合

独立性を尊重しながら、

めとする各分野の情報に限りが のものであり、 通しの甘さがあったのでは。 公約の策定は市長就任前 財政動向をはじ

施は可能と考えているのか。 子育て世代に選ばれるま を含め、無償化の完全実 給食費の無償化の政策目 的と効果は。財源の目途 公約で掲げた学校

#### 幼児教育・保育の方向性は 学校教育、

石塚 慶 議員 新政クラブ

引財

荘内病院の経営 農業政策 人口減少対策

など

**子育て環境の充実に努める。** 

家庭、地域が元気に育つように、

た取組を通じ、

市内全域で子供

へとともに検討を行う。 こうし

地・市街地の施設が共存し発展 代に提供する必要がある。郊外 築の必要性等も重要な要素とな の導入、コミュニティスクール 小中一貫校や義務教育学校など 市長 が必要と考えるが、方向性は。 する市全体のグランドデザイン 高さと多様な選択肢を子育て世 るため、総合的に検討していく。 することが重要であり、校舎改 の推進なども選択肢として検討 譲員 幼児教育・保育は、質の 従来の学校統合のほかに

正配置を検討すべきと考 はなく、 単純な統合のみ 新たな学校の適 で

えるが、方向性は。

### 公共工事の地元発注と地域経済振興の考えは

日本共産党鶴岡市議団 加藤 鑛一議員

ほかの質問な

できるものと考える。

は、文化会館建設事業は大手ゼネコン発注で10 の億円規模に膨らんで、下民の批判が高まり、また、ご市民の批判が高まり、また、ご市民の批判が高まり、また、ご市民の批判が高まり、また、ご

あり、 ことで、 複数業者が受注できるよう配慮 によるJVへの発注を基本とし 研究産業支援センターF棟増築 舎耐震補強工事、3年度の先端 年度の屋内多目的運動場や本庁 費40億円を超える大規模工事で 備を、地元業者によるJV(※ の大荒一般廃棄物最終処分場整 は地元合意で解決した大型事業 している。 工事など、大型事業は市内業者 によるJVに発注した。 注した事例が多いが、地元業者 元発注と地域経済振興の考えは に発注している。公共事業の地 ンに発注した。一方、皆川市長 み焼却施設整備も、大手ゼネコ 他団体では大手業者に発 大荒の最終処分場は総工 地域経済の振興に寄与 地元業者に発注する 令和元

※ J V ··· 1 つの建設工事の受注、施工を目的に複数の企業で構成する事業組織体のこと。

### 事業者へ追加支援の検討を

市民クラブ 石井 清則 議員

された国の地方創生臨時交付金策を想定した場合、8月に追加きで、これまでと同規模の支援事業者への追加支援を進めるべが目立ち、飲食店を含む小規模

市長 提案を検討したい。 施について、 業者経営継続支援事業の追加実 厳しい状況が続いていると考え む小規模事業者にとって、大変 ながら、 追加された交付金などを活用し 向けて財源確保が課題となるが、 ている。 者が多数確認され、飲食店を含 8月には本市でも新規感染 全国的に感染拡大が続く 今後の支援策の実施に 現在実施中の小規模事 今定例会での追加

## コロナ禍における本市の取組は

と交付金活用の考えは。

となる。今後の具体的な支援策足も考えられ、歳入確保が課題の事業者支援分のみでは財源不

鶴岡市議会公明党 黒井 浩之議員

ほかの質問

防災対策、関財政見通し、

行財政改革の推進

市長 強化していくのか。 ら優先接種を検討している。 時期やワクチン供給量を見なが 効と考える。ほかの年代の接種 荘内看護専門学校に有事の感染 開設の動きがある。建設予定の 握に努め、対応を図っていく。 いながら、保育現場の課題の把 のある対応が求められている。 染防止対策の作業など、緊張感 し経費への補助を活用してもら 保育現場への対応をどのように 議員 各保育園・児童館では感 各地で酸素ステーション 時間外勤務等の掛かり増 高校3年生への接種は有

種に加えてはどうか。 時期を迎えるが、優先接や受験で県外に移動する 議員 高校3年生が就職

実施設計の中で検討していく。の影響等もあり、今後、基本

だが、感染症患者等の看護学校

、の受入れの是非や学校運営

**病院事業管理者** 

有事には有効

症対応を整備してはどうか。

#### 子どもたちの体力の 状況は



#### 本 間 正 芳議員

議員 特別支援学級在籍児童を対象とした市民 プールでの水泳教室の実施状況は。

教育長 きめ細やかな指導を行うために、鶴岡 水泳育成協会に委託し実施していたが、コロナ 禍における他校との交流や移動時間・方法の確 保が難しく、各校でのプール学習に切り替える こととし、今年度に本事業の廃止を決定した。

議員 児童にとってはとても良い授業であり、 事業を継続できないのか。

教育長 校外でのプール学習については、各校 で判断・実施すべきと考える。移動手段の確保 については、ニーズを把握し検討したい。

#### 

持続可能な地域医療を支える荘内病院の 事業運営

## 一般質問

市政全般について考え方や方針などを 市当局に質問します。

各議員1項目について概要をお知らせします。

質問は市議会ホームページ等で公開している 録画配信や会議録で全てご覧いただけます。 原稿は質問した議員本人の責任において執筆 しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。 ※総括質問を行った議員を除く18人の質問を掲載します。

#### YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。

YouTube 鶴岡市議会



#### スマート・テロワールと 農地の有効利用は



#### 本間信一議員

議員 スマート・テロワール(※)の取組は。 農林水産部長 山大農学部を中心に協議会を組 織し、循環型農業の形成に資する事業などを進 めている。本市も協議会の会員となり、輪作体 系の実証事業などの取組に支援を行っている。

議員 月山山麓の11の3団地では、農業者の高 齢化等で作付けされない農地にも分担金が課さ れ不満が出ているが、今後の農地利用計画は。 羽黒庁舎支所長 同団地を対象に人・農地プラ ンを策定し、農地集積等を進めている。ダムを 含む施設管理のための分担金は、効率的な潅水 体系への見直しとともに在り方を検討していく。

#### ほかの質問・・・・・・

畜産振興

#### 今年の夏の観光動向は



#### 原一浩議員

議員 市内主要観光地の今夏の入り込み客数は。 商工観光部長 全体の入り込み客数については 現在集計中であるが、海水浴場については集計 が完了しており、新型コロナ対策を講じながら 7月中旬から8月中旬まで開設した湯野浜、加 茂、由良、三瀬、小波渡の5海水浴場には、累 計36万人の方々が訪れている。例年より連休が 多く、天候に恵まれたこともあり、昨年と同様 に開設した湯野浜、由良、小波渡の3海水浴場 では、対前年比で約20%~40%の増加となった。 コロナ禍においてもアウトドアなど自然に親し む方々が多い傾向にあると把握している。

#### 

高速交通網の整備、公共施設への冷房設置

※スマート・テロワール…地域の資源と経済を地域内で循環させ、持続可能な 食料自給を目指すもの。

## 400億円産地達成に向けリンドウの産地化を



#### 阿部寬議員

議員 農業産出額400億円の達成に向けて、メロンや枝豆等の主力園芸品目に加え、水田の転作に適しているリンドウの産地化を進めては。 農林水産部長 リンドウは冷涼な気候を好み、鳥獣被害が少ないことから中山間地域で多く栽培され、保水力の高い土壌に適することから水田転作にも合う品目である。本市で栽培されている極早生品種の出荷は全国的に生産量が少ない6月~7月であり、主要産地との競合を避けた有利な流通が可能だと考えられる。産地化に向けては、まず既存の生産者をモデルに成功事例を増やしていくことが重要と考える。

深沢ため池の廃止

#### 第2次総合計画の推進と 成果の検証は



#### 齋藤 久議員

議員 同計画の推進方針の1つ目に、対話と協働による政策推進が掲げられている。対話は市民だけでなく、議会、職員、国とも欠かせないものであり、協働はともに歩むオール鶴岡のチームプレーだと考える。政治には結果責任が問われている。コロナ禍は厳しい財政運営に拍車をかけるが、同計画の推進とその成果は。

市長 対話と協働を市政運営の基本とし、同計画の推進のため、コロナ禍でも歩みを止めず、 庁内各部署が一丸となり取り組んできた。今後 も、誰一人取り残さないという視点を強く持ち、 対話重視と市民目線で計画の推進を図っていく。

ほかの質問

なし

#### 人材育成のために 資格取得支援の取組を



#### 五十嵐 一 彦 議員

議員 あらゆる業種で人材不足が課題となっており、従業員に資格を取得させたいが、資金面の問題から支援できないという声も聞く。金山町など資格取得支援事業を実施している自治体は多く、市民の人材育成のために、本市でも取り組むべきでは。

**商工観光部長** 人材育成の施策として資格取得に係る費用を補助している自治体が多くあるので、その内容や効果を研究したい。また、国や県の各種助成制度を周知し、企業のニーズや現場の実態を把握しながら、今後の人材育成支援の在り方を検討していく。

地域まちづくり未来基金、要介護認定

#### ポストコロナを見据えた 文化芸術の振興は



#### 佐藤昌哉議員

議員 本市の多様性のある文化芸術の振興を図るため、企業が文化芸術活動に資金援助等を行うメセナ活動を、本市独自に推進する考えは。 教育部長 コロナ禍で芸術団体の運営も厳しい中、メセナ活動は重要な検討課題と捉えており、今後、体制構築に向けて、調査・検討していく。 議員 文化の一層の発展と創造を目指すため、市民の役割・市の責務・基本理念などを示した文化振興条例の制定が必要と思うが、見解は。 教育部長 同条例を制定し、その理念を共有することで文化芸術への意識や関心が高まる効果が期待できるため、引き続き検討していく。

ほかの質問・・・・・・

林業振興

#### 第三学区学童保育所の 改築・移設は



守議員 ılı 🖽

議員 第三学区学童保育所の整備上の問題は、 敷地が道路に接しておらず、建築基準法上、新 たに建物を整備できないことにある。用地取得 が最大の問題であり、これまで県所有地の取得 も含め改築を要望してきたが、今後の対応策は。 健康福祉部長 朝暘三小の職員駐車場の利用を 検討していたが、駐車場の代替地がなく、別の 案を検討している。代替案として、現在、同学 童保育所が県から無償貸付けを受けている旧家 政高の弓道場の空き地を県から譲り受け、この 土地が接道要件を満たすように、職員駐車場か らの動線を確保する案を検討している。

#### 

要介護者の移送手段

#### 大山地区本町周辺の 雨水排水対策事業は



菅 井 巌議員

議員 大山第1排水区の雨水排水対策事業の整 備計画の進捗状況及び地区住民への説明は。

建設部長 土地が低いことによる浸水被害や、 水路の劣化など多くの課題がある同排水区の整 備面積は53.9haであり、事業期間は令和4年度 ~13年度の10年間を見込んでいる。今年度は鶴 岡五中沿いに新たな雨水幹線の整備を計画する など、事業化に向けた変更認可手続きを行って おり、土地改良区などの関係機関と、大山川に 排水ルートを確保するための最終調整を行って いる。今年度内には地域の代表者や関係者への 説明会を実施したいと考えている。

#### ほかの質問 •••••••••••

空き地・空き家の課題対応、ごみ減量対策

#### 国民健康保険税の減税は



#### 坂本昌栄議員

議員 国保特別会計の2年度決算では、基金と 決算剰余金を合わせた留保財源が、22億7.000 万円にも上る。コロナ禍の市民の負担軽減を図 るため、国保税の減税を検討すべきでは。

健康福祉部長 2年度まで黒字であり、3年度 の国保税収入は想定を1億円以上上回る見込み である。国保税は、基本的に3年に一度、改定 の検討を行い、運営基金が約6億円を維持でき るかどうかを主な判断基準としている。コロナ 禍で見通しが不透明な面も多いが、基金の水準 を維持し、安定的に財源を確保できると判断し た場合は、3年を待たずに改定を検討する。

#### 

ひきこもり支援、無料低額診療対象者の薬代

#### 内川の浚渫や支障木の 撤去は



#### 長谷川 副 議員

議員 城南町地内の新内川分岐から内川橋、坂 本橋までの区間は土砂の堆積等が多く、地域住 民から河床浚渫の要望が出されているが、浚渫 や支障木の撤去など、今後の内川の整備計画は。 建設部長 県では、平成31年度から3か年計画 で内川の整備を行っている。今年度は、大東町、 城南町地内で河床浚渫を約400m、支障木伐採 を延長約900m実施し、また、遠賀原地内から 下山添までの約1 km で支障木伐採を、緊急的 に坂本橋上流の一部で河床浚渫を実施している。 今後も現場調査を継続し、県へ未実施区間の要 望を行っていく。

#### ほかの質問 •••••••

教育環境、子育て支援

#### 「学校」ではない 多様で柔軟な学びの場を



田 中 宏議員

議員 本市における不登校の児童生徒の現状と 対応は。フリースクールなど多様で柔軟な学び の場を検討すべきと思うが、見解は。

教育長 7月末現在、30日以上の欠席者は、小学校14人、中学校51人で、昨年度から継続しての不登校は小学校10人、中学校40人である。相談体制は、スクールカウンセラーを県費で9人、市費で2人、スクールソーシャルワーカーを市費で1人配置している。市内にフリースクールは未開設だが、既存の学校ではない多様で柔軟な学びの場は、困難な状況を抱える児童等にとって有効であり、環境整備を検討していく。

ほかの質問 •••••••••••

ワークライフバランス

#### 企業による奨学金返済支援を 普及させよ



#### 秋 葉 雄議員

議員 優秀な人材の確保や福利厚生を目的に、企業が社員の奨学金返済を支援する事例があるが、4月に、企業が日本学生支援機構に直接返済できる新制度が始まった。企業としても支援分を損金算入できるなど利点が大きく、企業の取組を後押しするものと思うが、この制度の積極的な活用策を検討してはどうか。

企画部長 企業と社員の両者に税制上のメリットがあり、活用する企業は同機構のホームページに掲載され、広く情報が発信される。市や県の返済支援とともに若者回帰につながるものと認識しており、企業に制度を周知していきたい。

ほかの質問 •••••••••

企業版ふるさと納税の活用

#### 慶應先端研を軸にした 産業興しを



#### 加賀山 茂議員

議員 市民は慶應先端研に大きな期待を寄せ、 雇用創出で人口が増え、豊かな街が構築される ことを望んでいる。企業が本市で事業展開でき るよう、将来を見据え積極的に誘致すべきでは。 企画部長 新産業用地開発に向けた用地需要調 査や基本計画づくりを進めている。先端研はサ イエンスパークを拠点とする企業等の技術革新 や産業創造の源泉であり、新産業創出や事業拡 大など、地域経済の振興や雇用拡大につながる と期待している。国内外の研究開発型企業等の 更なる集積を目指し、新産業用地への誘致等に 取り組み、魅力ある仕事づくりを促進していく。

ほかの質問

冠水対策

#### 渡前地区地域活動センター 体育館への対応は



#### 小野由 夫議員

議員 同センターの体育館が老朽化していることから、今年1月、渡前地区の各種団体が連名で多目的交流施設建設の要望書を市へ提出したが、いまだ回答がないと聞く。対応の実態は。 藤島庁舎支所長 当施設は建設後66年が経過し、雨漏りや床の腐食、冬季間の雪の吹き込み等使

雨漏りや床の腐食、冬季間の雪の吹き込み等使用に支障が出ているが、要望にあった防災機能を備えた施設整備については、他機能も有する複合施設としての検討が必要と考えている。当面は、現在の施設を安全に使用するために維持補修を進め、今年度は、不点灯の照明器具を水銀灯からLED照明に変更する予定である。

#### 

コロナ感染問題、ふるさと納税、財政の健全化

#### 目前に迫る「2025年問題」に 向けた取組は



#### 中沢 洋議員

議員 団塊の世代が75歳以上になる2025年以 降は、国民の4人に1人が75歳という超高齢 社会を迎える。現役世代の負担軽減のための健 康寿命延伸や、企業の事業承継等への取組は。 健康福祉部長 健康寿命の延伸には、若年期か らの取組が重要であり、39歳未満が対象の健診 では、受診者全員に保健指導を行っている。高 齢者に対しては、地域全体で健康づくりに取り 組めるよう、関係機関と連携し支援していく。 商工観光部長 事業承継については、各都道府 県に相談窓口があるが、本市も関係機関と協力 しながら、支援の在り方を検討していく。

#### ほかの質問 ••••••••••

庄内はひとつ

#### ヤングケアラー対策は



#### 富樫 正毅議員

議員 18歳未満の子供が、日常的に家族のケ アや家事を担うヤングケアラーが問題視されて いる。失う時間は大人と子供では大きな違いが あり対策が必要と思うが、見解は。

**教育長** ヤングケアラーに該当するかどうかを 見極める視点が教職員及び学校関係者に対して 十分に周知されておらず、また、家庭内のデリ ケートな問題であり、本人や家族に自覚がない といった理由から表面化しにくい特徴がある。 各学校に対し、周知が図られるよう働き掛ける とともに、早期発見と実態把握に努め、より良 い支援につながるよう指導、助言していきたい。

#### 

災害弱者の避難対策

## 退低挨拶耄

9月定例会最終日の9月22日、今期定例会 を最後に、任期満了により議員を引退される 方から退任の挨拶がありました。

中沢 洋氏 旧鶴岡市議 8期27年1月

鶴岡市議 4期16年

加賀山 茂氏 旧鶴岡市議 2期6年5月

鶴岡市議 4期16年

小野寺佳克 氏 鶴 岡 市 議 3期12年

野村 廣登氏 旧鶴岡市議 2期6年5月

鶴岡市議 4期16年

久氏 旧藤島町議 4期14年2月 齋藤

鶴岡市議 4期16年

佐藤 文一氏 旧朝日村議 2期3年8月

鶴岡市議 4期16年

#### 生産者と消費者をつなぐ CSAの普及を



#### 草島進一議員

議員 CSA(※) は、地域支援型農業と呼ばれ、 農産物の前払い契約を通じ生産者と消費者が相 互に支え合う仕組みであり、国内では宮城県大 崎市の「鳴子の米プロジェクト」等の取組事例 がある。本市でもCSAを普及させるきっかけ や、取組を支援する仕組みを検討しては。

農林水産部長 県内では白鷹町の産直施設で取 り組まれており、本市では類似の取組として定 期宅配を実施している農業者がいる。有機農業 や持続可能な農業の推進に向け、CSAは生産 者と消費者をつなぐ有効な手段であり、活用が 想定される産直施設等に周知を図っていきたい。

#### ほかの質問 •••••••••••

コロナ・フレイルの対策、生活困窮者支援

※CSA…Community Supported Agriculture の略。



## 特別委員会 経過報告

#### 議会改革特別委員会

本委員会は、昨年の中間報告の後、計10 回の委員会を開催し、議会運営に関する内 規の見直しや文書質問制度、文書資料請求 制度等についての協議と並行して、議会基 本条例に関する調査・検討、当市議会にお ける必要性について協議を行った。

議会基本条例については、協議を重ねた 結果、制定に向けて進めるとの方向性を確 認し、次期検討組織に協議土台として引き 継ぐため、「議会基本条例制定の目的」 「目的のために何をすべきか」「目指す議 会像」の3点について意見を取りまとめ た。

議会の機能を高め、活性化することを通 じて、市民福祉の向上、市政の発展、持続 可能なまちづくりの実現に寄与するため、 今後も議会基本条例の制定に向け鋭意検 討、協議が行われることを念願する。

#### 高速交通等対策特別委員会

本委員会は、9月7日に委員会を開催し、日 沿道の進捗状況、庄内空港・羽越本線の状況に ついて、当局から説明を受け、質疑・意見交換 を行った。日沿道「朝日温海道路」は、今年3 月に大岩川トンネル工事が完成。施工中の鼠ヶ 関トンネルに続き、残る3か所のトンネルも令 和5年度までの着手が発表されるなど、着実に 整備が進捗している。庄内空港及び羽越本線の 利用者は、新型コロナ感染症の影響により激減 しているが、ワクチン接種の進展等により、感 染症収束が期待され、アフターコロナを見据え

た対策が求められ ている。これら高 速交通基盤の整備 が一日も早く実現 されるよう念願 し、本委員会の経 過報告とする。



大岩川トンネルの現地視察

#### 人口減少・地域活性化 対策特別委員会

本委員会は、昨年の中間報告の後、計4 回の委員会を開催し、「第2次男女共同参 画計画」の策定、「まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の改訂、多様な働き方の推進、 地域活性化等について、市当局から説明を 受け、意見交換を行ってきた。また、外部 から関係者を招き、男女共同参画や地域人 材の育成等について懇談会を実施し、直接 意見を聞くことで実態や諸課題の把握に努 めてきた。

長引くコロナ禍の影響により、テレワー クなど働き方の変化が急速に進んでおり、 地方移住への関心も高まっていることか

ら、本市への移住 定住の促進や関係 人口の増加に積極 的に取り組まれる ことを希望する。



#### 議員定数等検討特別委員会

本委員会は、昨年の中間報告の後、議員のな り手不足について議論することとして、計5回 の委員会を開催し、活動の充実と活性化に不可 欠な政務活動費について調査・検討を行った。

委員からは、市民に議会・議員活動への理解 を深めてもらうための情報発信の強化等を理由 に、政務活動費を増額するべきだという意見が 多く出された。一方、増額について市民の理解 を得ることは難しく、増額には反対、現状 のままとするべきだという意見もあった。

本市議会における状況調査では、政務活 動において議員が費用を自己負担している 割合が大きいという現状を確認したところ だが、政務活動費の在り方については、こ れまでの議論の経過や活動の更なる充実強 化、社会情勢等を総合的に勘案し検討 するべきと考える。

### 12月定例会日程 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
11/21	22	23	24	25	26	27
		(勤労感謝の日)				
28	29	30 本 会 議	12/1	2	3 本 会 議	4
		(開会·総括質問) 予算特別委員会		本 会 議 (一般質問)	(一般質問) 議会運営委員会	
5	6	7	8	9	10	11
	本 会 議 (一般質問)	総 務常任委員会	市 民 文 教常任委員会	厚 生常任委員会	産 業 建 設 常任委員会	
12	13	14	15	16	17	18
	常任委員会		議会運営委員会	予算特別委員会	本 会 議 (表決·閉会)	
19	20	21	22	請願·陳情 提出期限 11月22日(月)午後1時		

#### ※各会議の開会時刻は午前10時です。

地域の各コミセン、図書館本館

いて、会議録が閲覧できます。

をご覧ください。

インターネットで会議録の閲覧

索ができます。市議会ホームページ

佐藤

博幸

午後にわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。

※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

# 議会の会議 本所及び各庁舎の市民ロビー、 を閲覧するには



傍聴の様子

活動とし

を中心とした活動に加え、

民の皆様のより多くの声をお

中心を担いました。

した「意見交換会」

0)

運

営

市議会が新しく設置しま

## 議会を傍聴される 皆さんへ

とともに、傍聴にお越しの方の健康を守るため、鶴岡市議会では、新型コロナ感染拡大を防止す のことをお願いしています。 します。 入場時に手指のアルコール消毒をしてくださ 傍聴席の間隔を空けて着席してください マスクを着用してください ご理解とご協力をお

ビモニター に聴できます。 ページ・ユーチューブでは生中継及び録画配信も 発熱など体調が優れない方はご遠慮ください 本会議は本所及び各庁舎市民ロビー で生中継しています。また、 市議会ホー 0) テレ

9月定例会を傍聴した方から寄せられた ご意見・ご感想(一部抜粋)を紹介します。

- 当局が議場内で水分を取れない のは、いかがなものか。健康面 が心配であり、余り格式にこだ わらなくてもよいのでは。
- とても勉強になった。当局の対 応も丁寧で安心した。また傍聴 したい。

ました。

て感じたのは、

ます。 動をどう充実して、 聴委員会に引き継いでま 後の課題として、 様にご理解をいただくかを今 ルなどを活用した広報広聴活 広報広聴委員 (副議長) 次の広報広 市民の皆

鶴岡 にお

発行/鶴岡市議会 編集/広報広聴委員会

ことと、

ホームページやメー

市民の方に読んでいただく

議会だより」をより多く

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25 電話 0235-25-2111 FAX 0235-25-2123 メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp



える議員活動、

# 員が担当する最後の号になり 私たち広報広聴委



ため、次

